

Ji**ba** Li**BRE** リブレvol.38

第13回ゴールドコンサート 報告書(映像DVD付き)

HAAA

**OVER THE
BARRIER**



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

Contents		目次
第13回ゴールドコンサート開催記録	1	出場者の声 9・10
組織委員会会長より挨拶	2	審査員よりメッセージ 11
実行委員長より挨拶	3	特別ゲスト 12
協賛者よりメッセージ	4	ゲスト 13
当日の様子	4	トークゲスト 14
受賞結果・出場者一覧	5	ボランティアよりメッセージ 15
受賞者の声 グランプリ< ConstantGrowth >	6	実行委員よりメッセージ 16
楽曲賞 < 笙 YUU >	7	観客アンケート結果 17
歌唱・演奏賞< YABKING >	7	ボランティアアンケート結果・収支決算書 18
観客賞< 渡邊 千優 >	8	
審査員特別賞< 비츠로 (비츬로) >	8	



障がい者の音楽コンテスト 第13回ゴールドコンサート開催記録

● 趣 旨

障がいをもつミュージシャンのコンテストであるゴールドコンサートは、出場者をはじめ企画運営に関わる者まで障がい当事者で占められている。

このコンサートに、行政、企業、学校、地域の人々に広報、協賛、ボランティア、観覧、インターネットによる視聴など様々な形で参加してもらうことにより、できるだけ多くの方に障がい者の自立、社会進出の必要性を認識してもらう。

もって、誰もがやる気や実力に応じて参加できる社会の実現に貢献する。

音源応募
応募組数：77 組

地方大会 in 福岡
日 時：2016年2月20日（土）
場 所：エルガーホール 7F 中ホール
応募組数：19 組（内3 組欠場）
優 勝：YABKING

地方大会 in 沖縄
日 時：2016年2月27日（土）
場 所：ミュージックタウン音市場 3F ホール
応募組数：27 組（内3 組欠場）
優 勝：ConstantGrowth

地方大会 in 仙台
日 時：2016年3月5日（土）
場 所：LIVE-DOME STAR DUST
応募組数：21 組（内2 組欠場）
優 勝：笙 YUU

地方大会 in 関西
日 時：2016年5月22日（日）
場 所：A&H ホール
応募組数：10 組（内1 組欠場）
優 勝：かしまちかずと

2016 The Sound Festival (韓国)
日 時：2016年6月25日（土）
場 所：ソウル市民ホール

選 抜

.....

第13回ゴールドコンサート 本 戦

.....

日 時：2016年10月10日（月・祝）
場 所：東京国際フォーラム ホールC
出場組数：11 組
来 場 者：789 名
出場関係者：約 50 名
（出場者約 30 名、キャスト・介添者約 20 名）
スタッフ数：約 200 名（ボランティア含む）
インターネットアクセス数：1,874 件
グランプリ：ConstantGrowth



組織委員会会長より挨拶



衆議院議員

の だ せい こ
野田 聖子

今年もゴールドコンサートが東京国際フォーラムにて大勢の皆さんの応援の下、盛況のうちにコンサートを終えることができました。第13回を数えるまで継続できたことは、偏に皆様の温かいご支援・ご協力の賜物と存じます。組織委員会会長として心より厚く御礼申し上げます。

さて、本年のコンサートは、昨年はじめて実施した地方予選会を全国4都市（仙台・関西・福岡・沖縄）に拡大して行い、その予選会及び応募での音源審査を勝ち抜いた実力あるアーティストによって実施されました。

また今大会も海外からの出場者として、韓国で行われた障がい者の音楽コンテスト「2016 The Sound Festival」により選抜された1組のアーティストが参加し、国内外計11組のみなさんが出場しました。

当日は、出場されたみなさんのハイレベルな演奏によって大いに盛り上がり、会場が一つになるような熱気溢れるコンサートとなりました。その中でも、グランプリを受賞された ConstantGrowth さんは、沖縄予選会を勝ち抜き本戦でも素晴らしい演奏をしてくださいました。発表

曲の「さくらはまだか」は、さわやかな明るいメロディと前向きで優しい歌詞が印象的な、聞いている人たちの心を温かくする力を持った音楽でした。

ConstantGrowth さんのグランプリの受賞を心からお祝いを申し上げますとともに、出場いただいたみなさんの今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

今後もより高い目標を掲げ、実力のある障がい者アーティストのみなさんに、より広範に多くのチャンスを設けることにより、コンサートが発展し、障がい者ミュージシャンのレベルが向上されることを願っております。

音楽は健常者や障がい者という壁を越える「共通言語」であると思います。ゴールドコンサートを通じ、社会全体の理解を深まり「心のバリアフリー」が広がることを期待しております。そして今後も障がい者の自立と社会参画を推進してまいりたいと思います。皆様におかれましては、引き続きのお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

組織委員会

【会長】

野田 聖子 衆議院議員

【名誉顧問】

エーバルド・クロー デンマーク筋ジストロフィー協会 会長

【顧問】

長谷川 岳 参議院議員

平松 一夫 関西学院大学 名誉教授

【理事】

今福 義明 アクセシジャパン 代表

奥山 俊博 東京大学先端科学技術研究センター 特任研究員

貝谷 嘉洋 NPO 法人日本バリアフリー協会 代表理事

金子 秀明 株式会社日本テレソフト 社長

小林 るつ子 玩具福祉学会 理事長

斎藤 省 有限会社さいとう工房 社長

鈴木麻美子 株式会社マグナ 代表取締役

高木 真 財団法人日本チャリティ協会

高田 弘治 Crescent 経営研究所 代表

高橋 久

高橋 実 社会福祉法人視覚障害者支援総合センター 理事長

高橋 陽子 公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長

竹中 ナミ 社会福祉法人プロップステーション 理事長

寺田 学 株式会社 CMS コミュニケーションズ

代表取締役社長

仲川 一昭 福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響（ゆら）」代表・指揮者

長崎 栄 株式会社ダイレクトインプット

西野 弘 株式会社プロシード 社長

松延 健児 株式会社エクサネット 代表取締役

野澤 勝 株式会社コヤマドライビングスクール

総務人事部長

Peter David Pedersen 株式会社イースクエア

代表取締役社長

馬渡 徹郎 NPO 法人音の羽根 理事長

安田 武晴 読売新聞

山下 桜 バイオニア株式会社

吉井 勇 株式会社ニューメディア

月刊ニューメディア 編集長

吉井 康雄 株式会社スポーツニッポン新聞社



実行委員長より挨拶



NPO 法人日本バリアフリー協会
代表理事

か いや よし ひろ
貝谷 嘉洋

第13回ゴールドコンサートは、おかげさまで無事に開催することができました。多くの皆様のご尽力のおかげです。心より感謝申し上げます。

今回の本戦を少々振り返ってみたいと思います。まず、特徴的だったのがポップスから笙という伝統音楽までジャンルがバラエティーに富んでいました。また、手話を用いた表現などもありました。

次に、受賞者のほとんどが地方大会で優勝し、本戦出場権を獲得した人々だったことです。今回、仙台、大阪、福岡、沖縄で開催しましたが、そのうちの3大会の優勝者がグランプリを含め受賞しました。

さて、この活動をする上で不可欠な企業の支援について述べます。

まず、協賛金や寄付金、助成金や補助金といった様々な形で資金面の支援があります。会社から直接支援してもらう場合もありますし、傘下の公益法人から支援してもらう場合もあります。事務職員の給与から、イベントに直接かかる経費の大部分はこれらの支援のおかげで成り立っています。そのほか個人の方からの寄付もあります。

次に、ボランティアさんの紹介という形で、人的な支

援もしてもらっています。私たちは、比較的大規模なイベントを通して障がい者の理解を深めようとしています。イベント当日の運営には多くのスタッフが必要です。

資金も潤沢ではないし、活動に興味がある人々に関わってもらいたいという思いもあるので、スタッフはボランティアにお願いします。

企業は、私たちの要望に応じてボランティア募集について、社員さんに声をかけてくれます。ゴールドコンサートでは、200名のボランティアスタッフが当日の運営に従事しています。そのうち約7割は企業から紹介してもらった方です。多い企業で1社から30名近くのボランティアさんがその日のために来てくれます。

最後に、物品・サービス等の提供という形での支援があります。例えばゴールドコンサートにおいては、受賞者への副賞として、お客さんの土産として、またボランティア説明会の会場の提供など非常に助かっています。

協賛、協力の企業、そして個人・団体の皆様に心より感謝申し上げます。

協力者の皆様 (以下、敬称略)

■ 補助事業

公益財団法人 JKA

■ 後援

厚生労働省

文部科学省

東京都

千代田区

社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団

社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター

全国自立生活センター協議会

全国特別支援教育推進連盟

社会福祉法人 鉄道身障者福祉協会

一般社団法人 日本筋ジストロフィー協会

公益社団法人 日本フィランソロピー協会

■ 協賛 <企業・団体> (50音順)

株式会社イングランディーレ

公益財団法人オリックス宮内財団

関西学院大学

キッコーマン株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

株式会社 KDDI チャレンジド

一般社団法人元氣人倶楽部

国際ソロプチミスト川崎

コニカミノルタジャパン株式会社

コパケンとその仲間たちオーケストラ

株式会社コヤマドライビングスクール

J-Workout 株式会社

大同生命社会貢献の会

株式会社テイクプロシード

株式会社デービスアクト

日本イーライリリー株式会社

日本コムシス株式会社

日本信号株式会社

ノーベルファーマ株式会社

バイオニア株式会社

一般社団法人ピンクリボン運動推進本部

株式会社フォーシーズ

有限会社フジオート FUJICON

Meiji Seika ファルマ株式会社

株式会社 モンベル

医療法人和楽会

当法人の年間活動へ、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会、ファイザー株式会社からご支援をいただいております。



協賛者よりメッセージ

関西学院大学
学長

むらた おさむ
村田 治

第13回ゴールドコンサートの成功をおめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

関西学院大学は、キリスト教主義に基づいた大学であり、各学部のチャペルでは讃美歌やゴスペルなどがほぼ毎日のように歌われています。学生や教職員は絶えず音楽に接しており、音楽の持つ力をよく理解していると思います。その意味で、平松学長の時に、ゴールドコンサートの第1回目から協賛させていただいたことは自然の成り行きであったと考えております。

また、2020年に開催されます東京オリンピック・パラリンピックについても、特に、パラリンピックを応援したいと考えてNPOとも協定を結んでおります。今回のゴールドコンサートもそうでしたが、音楽やスポーツを通じて、障がいのある方から勇気と感動をもらっていると絶えず感じております。

ゴールドコンサートがさらに発展することを心から願い、微力ながらも引き続きご協力させていただきます。

当日の様子

会場オープンの様子

物販の様子

開演

東京国際フォーラム前入口



記念撮影



■ 協力 <企業・団体> (50音順)

社社会福祉法人あかねの会
株式会社エイチ・アイ・エス
ユニバーサルツーリズムデスク
FMC ワッホー編集部
関西学院大学同窓会東京支部
キュービーグループマッチングギフト「QPeace」
株式会社京進
車いすアドバイザーいっぽ
株式会社クオライフトコム
駒場ビストロエガリテ
NPO 法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク (TA-net)
株式会社Jストリーム
スタンダードチャータード銀行
J.P. モルガン
一般社団法人障がい者自立推進機構
パラリンアート運営事務局
新老人の会
スポーツニッポン新聞社

デンマーク筋ジストロフィー協会
とっておきの音楽祭実行委員会
SENDAI
日本オラクル株式会社
公益財団法人日本ケアフィット共育機構
NPO 法人日本バリアフリー政策研究所
バンローリング株式会社
三菱UFJ信託銀行
株式会社フジテレビジョン
NPO 法人プラチナ・ギルドの会
明治安田生命保険相互会社
株式会社メディカルフォーラム
めびうすのWA
六本木ふるめん

ボランティア説明会の会場は日本オラクル株式会社にご提供いただきました。

■ 協賛 <個人> (50音順)

相川 和宏
畔田 孝
新井 美智子
新居 倫子
五十嵐 昌治
伊豆原 涼子
岩城 義親
浦田 泉
大木 聖薫
加藤 喜昭
金子 健
川井 直樹
北原 恵美
公ちゃん
久保 弘憲
久保木 富房
小島 篤
坂口 昇治
山本 伸
繁治 義信
清水 千佳代
祐成 常久
鈴木 研司
竹井 英久
恒藤 晃
中垣 潔
中田 恵子
西川 将巳
西村 隆
野村 宗芳
半田 裕明
坂内 恵子
坂内 智也
福澤 利夫
藤間 一正
古野 民子
町田 久美子
村上 みな子
村田 龍二
森 昭弘
山中 英雄
山中 洋子
山本 邦松
山本 剛介
吉井 勇
吉崎 英雄
吉田 栄治
他 匿名希望 14名

■ クラウドファンディング READYFOR 支援 (50音順)

伊藤 和永
内山 早苗
大室 章
奥山 俊一
川崎 悦道
小西 明宏
五味淵 紀子
小山 昌孝
島 椋子
田中 裕美
チーム新老人の会
福島 浩太
福島 敏子
プラチナギルドの会
松延 健児
翻車魚
第28回めびうすカフェ参加者有志
山本 真也
他匿名希望 4名
その他大勢の方にご支援いただきました。

受賞結果（本戦）



グランプリ（日本信号賞）

ConstantGlowth / 沖縄【肢体】
「さくらはまだか」

副賞：音楽活動支援金 30 万円、密閉型ダイナミックステレオヘッドホン、スペリオダウンジャケット、ピザーラプレゼントチケット 10 枚



楽曲賞（大同生命保険賞）

笙 YUU / 宮城【知的・発達・内部】
「風海る」

副賞：スペリオダウンジャケット、ピザーラプレゼントチケット 10 枚



歌唱・演奏賞（フォーシーズ賞）

YABKING / 福岡【肢体】
「HUMAN」

副賞：ワイヤレススピーカーシステム、ピザーラプレゼントチケット 10 枚



観客賞（関西学院大学賞）

渡邊 千優 / 東京【視覚】
「夕日」

副賞：スペリオダウンジャケット、ピザーラプレゼントチケット 10 枚



審査員特別賞

비츠로 / 韓国【肢体・聴覚】
「네 바퀴의 꿈（四輪の夢）」

◇ネット投票結果

- 1位 ・ **ConstantGlowth** / 沖縄【肢体】
「さくらはまだか」
- 2位 ・ **かしわもちかずと** / 兵庫【視覚】
「そこにある未来」
- 3位 ・ **渡邊 千優** / 東京【視覚】
「イマジン」

本戦出場者（出場順）

- ① ConstantGlowth / 沖縄【肢体】「さくらはまだか」
- ② 太田 将誉 / 東京【知的・発達】「儚い夢」
- ③ 渡邊 千優 / 東京【視覚】「イマジン」
- ④ 香介 / 東京【視覚】「Bluebird」
- ⑤ 비츠로 / 韓国【肢体・聴覚】「네 바퀴의 꿈（四輪の夢）」
- ⑥ DY / 大分【視覚】「perfectman」
- ⑦ 宮島 悟 / 東京【精神】「07 いて・・・」
- ⑧ ダブル M / 群馬【視覚】「ほんとうのたからもの」
- ⑨ かしわもちかずと / 兵庫【視覚】「そこにある未来」
- ⑩ YABKING / 福岡【肢体】「HUMAN」
- ⑪ 笙 YUU / 宮城【知的・発達・内部】「風海る」



受賞者の声



CONSTANT GLOWTH

メンバー：謝花 勇武（ボーカル）、SUKE（アコースティックギター）、春菜（ベース）、利奈（ドラム）、木村 華子（ピアノ）、田中 茂徳（エレキギター）

1. ゴールドコンサートの感想をお聞かせください

なによりもレベルが高い。

私自身障害を生まれつき持っていますがゴールドコンサートと聞くとハンディを持った方々のイベントという大きな固定観念があり、その演奏や歌のレベルもどこかハンディがあるのかなと勝手に想っていました。すべての出場者が全国の予選大会を勝ち抜いてきただけのことあって皆さんすごく、音楽に対してとても前向きで、とても素直で、本当にレベルが高かったです。

ハンディを持った方々のコンサートというよりもそのままでも音楽イベントとして成り立つような、そんなすごい方々の中同じステージに立ち歌えた事を本当に誇りに思います

今回は運が味方についたのか私達 ConstantGrowth がグランプリを取ることができ本当に本当にうれすぎて今でも夢を見ているような信じられない現実です。あの会場に参加した人にしか感じられないあの緊張感とあの感動をもっともっと多くの方に知って欲しいと心から願っています。



©大高英樹

2. 今後の展望や活動予定を教えてください。

ゴールドコンサート、グランプリを高々と胸に抱えながらこれからの音楽活動をもっと自信をもって歌っていきたくて考えています。現在はCDも売れないと言われ音楽業界で生き残るのも大変な時代だといわれています。

常に誰かがやってくれることを待つのではなく自分たちがライブを企画しチケットを売り、たくさんのお客さんをもっともっと感動させるような、そんな活動をしていきたいです。

現在 CD を無料で 100 万人に配ろうとプロジェクトを立ち上げています。僕たちの歌をまずは聞いて頂いて、そして僕たちの音楽が本当に必要なものか?たくさんの方にジャッジしてもらいたいです。



©川津貴信



3. 最後に一言お願いします。

ゴールドコンサートそのものが障害者と健常者の壁を越える姿そのものだと感じました。たくさんの方のハンディやたくさんの方の弱い部分や強い部分、そしてたくさんの方の想いとたくさんの方の歌が、もっともっと多くの人に伝わっていきますように・・・。

受賞者の声



©大高英樹

楽曲賞 しょう ゆう 笙 YUU

1. ゴールドコンサートの感想をお聞かせください

広い会場での演奏はとても気持ち良かった。障がい者の音楽コンテストですがまだまだ宣伝不足の感がありました。障がいといっても多種に亘っている中からのコンテストなので審査基準を整備するのは大変なご苦労があったと思います。

今後も地方大会を充実して頂き多くの参加者を得て大きなゴールドコンサートになり本戦に出場することが夢のステージになるように望みます。出演してみて、拘束時間が長かった点が気になりました。なるべく昼間の時間でコ

ンテスト終了を望みます。時間配分の検討をお願いしたいと思います。

ボランティアさんにはとてもよくして頂き感謝申し上げます!

2. 今後の展望や活動予定を教えてください。

オリジナリティーのある音楽を作曲していきたい。特に笙の音を生かした他の楽器では出来ない和音と単音を組み合わせ、アンビエントな音楽を作曲していきたい。

又、今後の活動として日本古来の楽器である笙を生かした「心あたたかくなる笙の音を世界へ」に向けて様々なシーンで発信していきたい。その様な場の提供、斡旋等を協会がして頂けると有難い所です。

3. 最後に一言お願いします。

出来れば、本戦出場前、出場後の書類の軽減、連絡の簡素化・迅速さ・正確さ等をお願い致します。何はともあれ、関係者の皆様には大変お世話になり有難うございました。本戦出場者の方々との横の連絡も出来たらより素晴らしいものになるかと思ひます。



©株式会社 フォトライフ



©大高英樹

歌唱・演奏賞 ヤブキング YABKING

1. ゴールドコンサートの感想をお聞かせください

自分は3度目の挑戦で、福岡予選で優勝をし、本戦の舞台に立つことが出来ました!全国の舞台に立ってみて思った事は、一人で立っているのではないという事です。ゴールドコンサート主催の日本バリアフリー教会の皆様、音響・ボランティアスタッフの皆様、応援してくれた家族がいたからだと思ひます!!

本番では、全く緊張せずにノーマスで終える事ができ、結果として歌唱・演奏賞を頂くことが出来ました!なので、悔いは一つも残ってません!次の目標に進みたいと思ひます!本当にありがとうございました!!

2. 今後の展望や活動予定を教えてください。

日本にヒューマンビートボックス協会があって、毎年JBC (JAPAN BEATBOX CHAMPION SHIP) って大会を開催しているので、来年はJBC 福岡予選に挑戦します!

そして、自分の夢「HUMANBEATBOX 世界一」・目標「HUMAN BEATBOX で生計をたてる」を叶えるために前進していきます!

ライブでは、障害者としてステージに立ってるのではなくて「一人の人間としてステージに立ってる」って事を伝えていきます!

3. 最後に一言お願いします。

ゴールドコンサートは素晴らしい大会なので、色々な方に挑戦して欲しいです!!



©株式会社 フォトライフ

受賞者の声



わたなべ ちひろ
渡邊 千優

1. ゴールドコンサートの感想をお聞かせください

はじめてゴールドコンサートに出場させて頂きました。

こんな大きな舞台や人の前で演奏する事は初めてだったので、とても緊張しました。演奏する時はドキドキして体が震えていました。演奏が終わり、お客様のたくさんの拍手を聞いてホッとしました。待っている間は他の出場者の方と音楽のお話や色々なお話しが出来て楽しかったです。

表彰式では、自分の名前が呼ばれた時にはびっくりしましたが、観客賞とインターネット投票第3位を頂きとても嬉しかったです。とても有難うございました。

2. 今後の展望や活動予定を教えてください。

たくさんの人に聴いて頂けるようになりたいと思います。そして、皆さんが笑顔になってくれるような演奏ができるようにこれからも頑張っていきたいです。

また、作詞・作曲なども勉強して、いつかは自分で曲が作れるようになりたいと思っています。

3. 最後に一言お願いします。

ゴールドコンサートに出場することが出来て、とても良い経験になりました。

また、今まで私を支えて下さった方々に大きくなった私の姿を見てただけたことはとても嬉しかったです。当日は、たくさんの方にお手伝いをして頂き、こんな貴重な経験をすることが出来ました。本当に有難うございました。



ビチュロ
ビスロ

メンバー：ペ・ウンジュ/배은주 (ボーカル)、イ・ウンピョル/이은별 (ダンス)、ファン・シネ/황신애 (ダンス)

「第13回ゴールドコンサート」、そこには芸術を通じた分かち合いとコミュニケーション、そして「愛」があった。

聴覚障がい者が果たして手話ダンスではなく、創作舞踊をすることができるのか?こなすことができるのか?・・・心配はあったが、長い準備期間を経て、芸術に限界はないと信じ、ビチュロを結成しました。様々な講演活動を経験していく中で、日本のゴールドコンサートに出場できたことを光栄に思います。ビチュロチームにとって一生忘れられない一日になりました。

出場した障がい者芸術家たちの情熱、ボランティアで力を与えるスタッフなど、芸術を通じた人と人との穏やかで美しい疎通と分かち合い、ゴールドコンサートはビチュロチームに真の芸術の意味を教えてくださいました。さらに審査員特別賞を頂いたこ

とは、大変重要な経験となりました。

今後の公演活動への刺激となり大きな誇りを感じた大会でした。コンサート審査委員の皆様ならびに主催日本バリアフリー協会様に深く感謝を申し上げます。



出場者の声



ディー ワイ
D Y



第13回ゴールドコンサートへの出場が決まった今年の夏。思い描いていた夢の一つ「ホールCのステージに自分も立ちたい」。音楽の神様がいるのだとしたら、ようやく許された気がした。せっかくいただいたこのチャンスを無駄にはしていない。

10月10日、初めて立ったその場所は本当に広くとても大きく、ずっと信じ続けてきた音、夢、願い、希望を全て包み込んでくれるような温もりを感じ、「夢を叶えるとはこういうことなのか」と、胸がいっぱいになった。そして今までにないぐらい、最高に楽しく気持ちよく自分の歌を演奏することができた。

夢を叶えることは決して簡単ではなく、また叶えられた夢は決して自分一人の力で成しえられたわけではないことを、僕は忘れないだろう。そして、ここがゴールではなく次の夢に向かって、また少しずつ歩き始めたいと思う。次にゴールドコンサートのステージに立つときは、その「次の夢」と共に。



エム
ダブル M



7年ぶりのゴールドコンサートでしたが、とても楽しかったです。本番前も本番中も、7年前のびりびりとした雰囲気とは打って変わって、出場者同士での団らんを楽しむ余裕まであって、リラックスできました。

結果は出せませんでしたが、単にレベルが上がっただけでなく、7年前よりもずっとずっと楽しいイベントになっていると感じました。

来年も、再来年も、これから先も、ずっとずっと、命の続く限り、ゴールドコンサートを含めいろいろなステージにチャレンジしていきたいと思います。



おおた まさたか
太田 将誉



二年連続出場の機会を頂きまして誠にありがとうございました。前回同様、手厚いご対応、ご支援を賜り心からお礼申し上げます。出場の皆様の素晴らしいパフォーマンスを間近に拝見出来、多くのことを学ばせて頂きました。

二次障害であるパニック障害のため、極度の緊張感と不安、吐き気の中での演奏でしたが、弾ききった時の達成感と感謝の思いは忘れることはありません。私の願いは、私と同じような障がいや苦しんでいる方々やご家族に、不器用なりに懸命に乗り越えよう

としている姿を見て頂くことです。諦めず創り続けてきた渾身の曲を聴いて頂きたいのです。ですから、第14回ゴールドコンサートも新曲を携えチャレンジいたします!

出場者の声



みやじま さとる 宮島 悟



今回のゴールドコンサート出場は、お陰様で宮島史上屈指のパフォーマンスとなりました。自閉症のせいか成功体験の乏しい青春でしたが、今ではそれを好奇心や想像力、行動力などで補う癖がついています。今回のような出来事があれば、当分はまた闘魂を奮い立たせられるでしょう。

トマトは元々は水の少ない地域の農産物らしく、極端に水を与えないようにするとストレスで甘くなるのだ

そうです。オレにとっての成功体験は、トマトにとっての水のような気がします。90年代、東京ドーム大会を大成功させた全日本女子プロレスは、翌日から、また地方の駐車場特設リングでの地道な巡業を再開させました。オレも胸を張っていつもの音楽活動に戻ります。きみまるやルー大柴の最年長ブレイク記録を抜くつもりで。

最後に当日のスタッフの皆さんの暖かいサポートに心から感謝致します。有難うございました。

甘いトマトを目指すアジャ・コング、宮島悟



こう すけ 香 介



今回、ゴールドコンサートに初出場させていただいたわけですが、改めてミュージシャンのレベルの高さを実感しました。今まで何度かエントリーをしていたこともあり、13回目の大会で本戦に進めたことは、非常に嬉しく思います。またコンテスト形式のライブは初めての経験でしたので、大会を通して個人的にも自信に繋がりました。

一番感じたことは、障害の種別・ジャンルを超え、様々な音楽性を兼ね備えたミュージシャン達が、自らにしかできない表現で演奏・歌唱していたことでした。それぞれが全身・全霊を込

めてプレイしていたことは、間違いなく聴衆にも伝わっていただろうと確信しています。そんな印象に残る大会に次回も出場できるよう、日々の音楽活動にこれからも精進していきたいと思います。



かしわもちかずと



今回は大変お世話になりありがとうございました。ボランティアスタッフの方には、とても親切にいただき感謝しております。一昨年に行われた第11回ゴールドコンサートに続き、今回2度目の出場でした。

普段からいろんな場所でライブ活動をしていますが、国際フォーラムのような大きな舞台上で歌うことはめったにありません。もう一度あの大きな舞台上でたくさんの方たちの前で歌いたいと思っていましたので、今回その夢が叶ってとても嬉しかったです。

僕と同じ視覚障害者の方たちの演奏、違う障害者の方たちの演奏を間近で聴くことができとてもいい刺激を受け勉強になりました。今回の出場であらためてこれからも僕なりのスタイルで音楽活動を続けていこうと強く思いました。



審査員よりメッセージ

有限会社 エフ・エム・ジー 会長

はなむら こ
花村 ひろ子

去年から審査に参加し、二度目となった。主催の貝谷さんから、このコンサートからスターを出したい、その為にシビアな意見が欲しいと言われた様に記憶している。私の専門は音楽ではないが芸能プロダクションとしてタレントを発掘、育てる苦労は味わってきた。趣味でアメリカの巨大オーディション番組「アメリカンアイドル」にはまって以来「Xファクター」「グリーオーディション」等々見続けているうちに門前の小僧ナントヤラで、知らず知らず学んだ気がする。それは自分の仕事としてオーディションで新人を選んできたポリシーと変わらない。ポイントは歌はもちろんだが鮮度と伸び代。鮮度は年令とは関係ない。40歳70歳だって新鮮な人はいるし、20代でもすでに失っている人も少なくない。鮮度を保たせるのは素直である事、柔軟な姿勢である事だ。

前回私は緊張しながらも審査員という初めての体験をし、参加者の純粋な姿を見せてもらい爽やかな気持ちになれた。立派ないいコンサートだ。しかし全体のレベルは今年の方が高かったように思う。それは地区予選を実行した事が反映しているのではないだろうか、どなたか発言されていたが、私も同感だ。資料だけではユニークな人材を見落とししてしまう事も往々にしてある。YABKING君がそのいい例かもしれない。特にこのゴールドコンサートにおいては様々なスタイルがあるので難しい。とは言え今回もプロとして期待できるまでの人はいなかった様に思う。

このコンサートばかりでなく、なかなか可能性のある人材が見つからない時代だ。問題は現在の日本の歌のレベルが低くなっている事かもしれない。ヒット曲として聞えてくる歌手の音程は悪いし、自己流の発声に頭が痛くなる事もしばしばだ。みんなそれを聞いて育てているのだ。演技でも踊りでも同じ様な事が言えると思うが、いいコーチがいなくなっている気がする。人気や数字に焦点を当ててエンターテイメントまで経済だけで考えているうちに様々な事が劣化してしまったのではないかな。

ハンディキャップを乗り越えてチャレンジする皆さんには、かつての日本の名歌手や海外の素晴らしい音楽を小さい時から聞いて欲しいと思う。今流行っている物だけに気を取られず、おばあさん、おじいさんにオススを教えてもらったらいいと思う。そして良いコーチを見つけて勉強して欲しいと思う。始めの方で述べたアメリカのオーディション番組などで感心したのは優れた指導者がたくさんいる事だった。これはうらやましい。

コンテストとは難しいもので優勝者が生き残るとは限らない。上位に残りながら敗退した挑戦者が後に大活躍する事がしばしばある。選ぶ過程でどうしても万人が好む平均的価値に票が集まりやすくなる。今回個人的には“かしわもちかずと”君に、のどかでいながら度胸もあって新鮮さを覚えた。票につながるつかみどころに欠けていたかもしれないが、もう少し時間をかけて育ててみたら面白そうに思えた。

審査員

本戦

■ 審査員長

湯川れい子 音楽評論家・作詞家

■ 副審査員長

吉岡 正晴 音楽評論家

■ 審査員

- 阿部 恒世 WaWaWa 元編集長
- 工藤 由美 音楽ジャーナリスト
- 小久保 隆 環境音楽家
- 仲川 一昭 福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響(ゆら)」代表・指揮者
- 萩原 岳 ナレーター、宣伝販売促進コンサルタント
- 花村ひろ子 有限会社 エフ・エム・ジー 会長

地方大会 in 福岡

■ 審査員

- 田畑 尚美 福岡スクールオブミュージック & ダンス専門学校 副校長
- 亀山みゆき 株式会社シンフォニア代表 サウンドデザイナー
- 西島浩一郎 ラブFM 編成部番組制作プロデューサー

地方大会 in 沖縄

■ 審査員

- 我如古盛健 NPO 法人サポートセンター ケントミ 理事長
- 上与那原 寛和 パラリンピック選手
- 識名 安信 ライオンズクラブ 元地区ガバナー・名誉顧問

地方大会 in 仙台

■ 審査員

- あんべ光俊 とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI 相談役 フォーク・ロックアーティスト

地方大会 in 関西

■ 審査員長

- 稲垣 達也 とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI 初代委員長 / 相談役 ピアニスト・作曲家
- 菊地 昭典 とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI 企画プロデューサー 脚本家

地方大会 in 関西

■ 審査員長

- 仲川 一昭 福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響(ゆら)」代表・指揮者
- 中川 一夫 社会福祉法人わたぼうしの会 事務長
- 山下 純一 10周年記念ゴールドコンサートグランドチャンピオン、第6回ゴールドコンサートグランプリ
- 酒井 靖 ※ご都合により欠席となりました。一般財団法人たんぼの家 エグゼクティブ・ディレクター

特別ゲスト

ふたりめ 二人目の ジャイナ

今回「第13回ゴールドコンサート」にゲスト出演させて頂いて感じた事。それは本当に聞きなれた、ありきたりな言葉でした。

「音楽には垣根がない。」

元々、障害者の方と初めて音楽の現場でお仕事を共にしたのは2015年のGCグランドフェスティバルが切っ掛けでした。ハンディを支え合い、長所をいかしエンターテインメントを創る。それが行われている日本で希有なイベントに出演させて頂いて光栄だったのを思い出します。

私たち「二人目のジャイナ」というバンドは今、日本では珍しい大所帯で歌をメインにしておきながら、メッセージを全面に、というよりもショーアップされたステージ、楽しさや心躍るといった方にパフォーマンスを重視しているバンドです。

そんな私たちが果たして、ゴールドコンサートのゲストに相応しいのであろうか、考えました。出演が決まった後もどのようなステージにしようか、自分たちの曲の中でもメッセージが強いステージにしようか。答えは簡単でした。いつも通りのエキサイトするステージを選ばせてもらいました。

勿論当日ステージに立つまではどうなるかはわかりません。どのようにオーディエンスの目に映るのか。

出演されているチャレンジドミュージシャンの期待を越えられるのか。

しかし、当日皆さんの演奏している姿を目にしている時に感じたのです。

「音楽には垣根がない。」

そう、そこはフラットに音楽が広がっていく、素敵な空間



©大高英樹

しかありませんでした。

伝えたい思いや音楽が大好きだという気持ちが音に乗って、その姿、音楽、尊重し合う空間。どう考えても悩む必要はなかったのです。

私たちの演奏、ステージング、光や音圧。普段のパフォーマンスに字幕などこの日の為の援護射撃がさらに素敵な空間を後押ししてくれました。まさに音楽が会場を一つにして、この日しかないものを産んだのです。それは本当に本当に素敵で私たちが追い求めていることです。

ゲストミュージシャンとして演奏を終えた後、受賞者の発表という役目を頂いたのも、またステージにもどりました。そして終演後、出演者、関係者、スタッフ、家族たち。その表情を間近で見れたことが私にとって今回一番嬉しく、楽しかったことかもしれません。「おめでとう」「ありがとう」「楽しかったね」そう伝え合う、いわばポジティブな共感が芽生えていました。

色々書かせて頂きましたが、最後にいつもの自分の言葉で伝えさせて下さい。

「俺は楽しかった。皆も楽しかった?また一緒に最高の音楽つくろうぜ、ありがとう!」

二人目のジャイナ ボーカル
Masa



©大高英樹

■制作協力

アートディレクション:

一般社団法人チャレンジド・クリエイティブラボ

印刷:協友印刷株式会社

舞台製作:中村 公一(株式会社クリエイティブ・アート・シンク)

舞台進行:渡邊 武晴(株式会社テイクプロシード)

進行舞監:桃井 直樹(株式会社テイクプロシード)

舞台監督:株式会社ヘッドロック

音響:株式会社トレジャーアイランドコーポレーション

照明:株式会社クリエイティブ・アート・シンク

映像:アイザック株式会社

文字通訳:PC字幕 [Flex]

手話通訳:一般財団法人

トライアングル金山記念聴覚障害児教育財団

(旧 聴覚障害児と共に歩む会・トライアングル)

写真撮影:AnzPhoto

大高 英樹

川津 貴信

株式会社フォトライブ

生放送:株式会社Jストリーム

ホームページ制作:

株式会社CMSコミュニケーションズ

ナレーション収録:株式会社USEN

■感謝状贈呈

キックマン株式会社

日本コムシス株式会社

■受賞者へのプレゼンター

徳淵 良孝

日本信号株式会社 取締役 専務執行役員

北原 睦朗

大同生命保険株式会社 取締役 専務執行役員

恩田 克己

株式会社フォーシーズ 経営企画本部 執行役員

村田 治

関西学院大学 学長

■出場者への花束贈呈

伊藤 喜美子、他会員10名

(国際ノロブチミスト川崎)

■当日取材マスメディア

NHK ラジオ「NHKジャーナル」

スポーツニッポン新聞社(2016年10月12日掲載)

日刊自動車新聞社

TOKYO MX「東京クラッソ! NEO」

他1社

実行委員長 貝谷嘉洋が日本経済新聞(2016年9月26日付)にて取り上げていただきました。

ゲスト

ディー・ジェー ユウタ アンド DJ Yuta & ユウイチ Yuichi

今回の第13回ゴールドコンサートにおいて我々 DJ Yuta & Yuichi は、ゲストで演奏させて頂きました。

昨年のゴールドコンサートでは思いがけずグランプリを頂戴し、そして今回はゲストとして、通算2回も東京国際フォーラムという日本でも有数の大きな舞台に立たせて頂けたというのは、本当に名誉なことと考えています。

ステージそのものも、順調に進んだと思います。後日スタッフの皆様よりお送り頂いた当日の映像を拝見致しますと、特に照明がとても素晴らしかった、と思います。本当にプロのライブ映像みたいだよなあ、と二人で笑いながら話しました。楽曲に関しましても、今回は割と落ち着いた目の曲を準備致しましたが、今回は差別化を図るために、かなりアップテンポの曲も取り入れました。その試みも上手くいったかな、と思います。

今後の展開ですが、昨年2015年に鳥取県の平井知事が、2020年のオリンピック・パラリンピックという国家プロジェクトに合わせて、世界に向けて障がい者アートを展開しようというプランを提案されました。その全く同じ年に、それと全く関係の無い地点からその鳥取県

出身である我々がゴールドコンサートに初参加させて頂いて、尚且つグランプリを頂戴したというのは、今から考えても恐ろしい偶然だな、と思います。そのような経緯で現在は知事を始めとする鳥取



©大高英樹

県庁様と直接連携を取りながら、様々なプロジェクトに参加させて頂いております。そして先月10月30日にはその鳥取県米子市で、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟」設立のキックオフイベントである『障がい者アートフェスタ2016』が開催され、眞子内親王の御前で演奏する機会も与えて頂きました。

我々は、コンピュータやインターネットといった現代のテクノロジーをフルに使って作曲活動・演奏活動を行っております。そのようなテクノロジーを有効に使うことで自分のイマジネーションを、身体に立脚するテクニックに寄らずに、サウンドに直結させることが可能になります。重要なのはむしろ、アイデアです。そしてこのことは、我々の生まれ育った鳥取県にも言えることだと思います。周知のように鳥取県は人口最少地で、少子高齢化に歯止めが掛かる様子が残念ながらありません。しかしそれを所与のものとして諦めてしまうのではなく、現状の問題を正確に把握した上で、それを克服するために何が出来るかを考えること。それがアイデアであり、それを現実化するのがテクノロジーだと思います。そのように限界を超えて行くムーブメント、それが我々の考えるアートそのものです。それを念頭に置きながら、今後も積極的な活動が出来たら、と考えております。

最後になりましたが、当日お出で頂きました皆様、お世話になりましたコンサート関係者の皆様、鳥取県庁の皆様に、厚く御礼を申し上げます。有難うございました。

©川津貴信



特別ゲスト、ゲスト、司会

本戦

特別ゲスト

二人目のジャイナ

ゲスト

DJ Yuta & Yuichi
(第12回ゴールドコンサート
グランプリ)

トークゲスト

瀬立 モニカ

司会

村松 加王里
クララ (寺田 湧将)

地方大会 in 福岡

ゲスト

F.C.G.C. ~フクオカ・コミュニティ・
ゴスペル・クワイア~

司会

大石 まり
(TVリポーター・イベントMC)
藤田 恭輔

地方大会 in 沖縄

ゲスト

ピエロのファンキー

司会

平田 聖人
(沖縄市障害者福祉協会 理事長)
幸喜 ひろみ

地方大会 in 仙台

ゲスト

高橋 直樹 (第12回ゴールドコン
サート 歌唱・演奏賞、観客賞)

司会

林 舞

地方大会 in 関西

特別ゲスト

CALバンド (カリフォルニア大学
バークレー校マーチングバンド=
the University of California
Marching Band)

ゲスト

山下 純一
(10周年記念ゴールドコンサート
グランドチャンピオン、第6回ゴ
ールドコンサート グランプリ)

司会

斎藤 日登美
吉井 康雄

トークゲスト

せりゅう 瀬立 モニカ パラリンピック・女子カヌー選手



©大高英樹

私はパラリンピックの舞台にリオで初めて出場しました。初めて選手村に入りましたが、そこにはたくさん障がいを持った人がいて、車いすに乗っているのが当たり前、手足がないのが当たり前、目が見えないのが当たり前みたいな、すごく一種独特の雰囲気のエリアでした。

その中でも私が特に感じたことはやっぱり障がいを持っていても海外の選手はみんな自分が大好きで、自分に自信を持っていて、「今日の俺、かっこいい?」なんて、そんなことを言う人がたくさんいて、すごく明るく生きていました。

そんな中で私が思ったのは、やはり自分をまずは好きになることから始めることが大切だなと思いました。

今回リオでは8位入賞という結果で、メダルを取ることはできませんでしたが、2020年東京では江東区で競技が開催されるということです。地元開催な

のでしっかり表彰台に上れるように頑張りたいと思います。皆さん、応援よろしくお願いします。



©川津貴信



©川津貴信



the pillows
vivid address
怒髪天
500,000,000YEN

GC GRAND FESTIVAL 2017

4.23 Sun.

出演アーティスト the pillows/怒髪天
vivid address OA:500,000,000YEN

会場: EX THEATER ROPPONGI
公演日: 2017年4月23日(日) OPEN 16:15 / START 17:00
チケット発売中! 詳しくは公式ホームページをご覧ください。http://www.gcgf.jp

— 協賛 —

NTT DATA
Global IT Innovator

OKI
Open up your dreams

Carlsberg

Koyama Driving School

DAIDO 大同生命

TFC 東北新社

TOYOTA

JP 日本郵政グループ

FOUR SEEDS CORPORATION

FRONTIER INTERNATIONAL

YUASA ユアサM&B株式会社

日本電信電話株式会社、株式会社メディカルフォーラム、医療法人和薬会



ボランティアよりメッセージ

もとかわ あきこ

明治安田生命保険相互会社

本川 晶子

会社のボランティア情報から応募し2009年から参加させていただいています。思い出深いのは2010年第7回ゴールドコンサートです。そのとき私は出場者係でした。出場者は9歳の女の子。アメージンググレイスのピアノ弾き語り。力強く、優しく包まれるような歌声に、舞台袖で聞いていて感動して涙が出ました。彼女は生まれつき目が見えないけれど、私の目の前で点字をものすごい早さで読んでくれたり、なにより明るくておしゃべりでとってもかわいい女の子でした。10時に国際フォーラムでお迎えをし、21時半のお別れまでずっと楽しくお手伝いをすることができました。「知らない」ことは、何かに関わることで自然と知ることができることを、このコンサートのボランティアをさせていただいて学びました。音楽は無限大に広く深く自由な世界です。素晴らしい音楽が、このコンサートからたくさん生まれることを楽しみにしながら、これからも参加できたらと思っています。



ボランティアよりメッセージ

やまもと よしひで

ノーベルファーマ株式会社 営業本部

山本 吉秀

ボランティアに参加した動機

以前勤めていた会社で人事の仕事をしていた25年以上前に、障がい者の方々への雇用を進める会社の設立に関わり、ノーマライゼーションの大切さと難しさに触れていました。現在勤務している会社がこのコンサートの協賛をしている関係でボランティアのお話を

知り、第10回から参加させていただいています。

ボランティアに参加した感想

一言でいうと、出演者の方々の並大抵ではないご努力に触れ、毎回勇気づけられています。これまで3回は会場案内係として、来場者の皆さんや同じボランティアの方々との触れ合いも楽しかったです。今回は出演者係として、演奏前の緊張感を一緒に味わっていただきました。リハーサルも含めて一日近くで一緒にでき、改めて音楽にかかる情熱と、明るくアクティブに取り組まれる出演者の方々からパワーを頂きました。

ゴールドコンサートへのメッセージ

運営事務局の方をはじめ、多くのボランティアの方々の力を結集していくこの素晴らしいコンサートを毎回楽しみにしています。より多くの方々に注目して頂ける様、微力ですがいろいろな方にご紹介していきたいと思えます。益々コンサートが盛り上がり、たくさんの感動と出会いができることを願っています。

運営ボランティア

■本戦 <企業>

車いすアドバイザーいっぽ
スタンダードチャータード銀行
J.P. モルガン
日本オラクル株式会社
公益財団法人日本ケアフィット共育機構 (TASKAL)
三菱UFJ信託銀行
明治安田生命保険相互会社
大同生命保険株式会社
株式会社コヤマドライビングスクール
ノーベルファーマ株式会社

<個人>

古田 泰則
北原 里菜
上月 敦雄
若林 唯
西田 幸子

遠藤 れい
中村 恵子
本川 晶子
二條 孝基
石川 政宏
本川 淳一
小笠原 光志
松本 雅史
細貝 智代
高橋 あや
内山 理紗子
望月 達矢
堀田 大介
山形 侑大
鈴木 豊
藤井 一成
小林 翔
川越 啓智
篠原 美雪
三雲 航介
條香 織

楠山 竜揮
尾形 悦明
関口 雄太
野澤 勝
北川 知彦
山本 吉秀
田中 和歌子
野村 真未
花宮 雅美
十島 典弘
和食 奈保美
三橋 貴美代
見附 美紀

■地方大会 in 福岡

安井 宏之
鬼塚 香
鬼塚 真嗣
板浦 寛
前川 健太
大坪 裕明

嶋川 史剛
納藤 千枝

■地方大会 in 沖縄

山本 真也
川越 卓斗
吉井 康雄
中村 公一
砂川エリナ
新垣 元気
小橋川 綾香
角田 美千代
幸地 良大賀
高橋 真
砂川 沙奈
川上 和美
大嶺 明美
丸山とし子

■地方大会 in 仙台

菊地 新生

大草 慎平
竹花 あさひ
谷 はるひ
亀山 誠
石森 祐介
竹林 留香

■地方大会 in 関西

中村 辰夫
山本 真也
三好 加菜
松永 珠美
廣田 良平
高田 大
大同生命保険株式会社
会社の有志

希望者のみ掲載
させていただきました。



実行委員よりメッセージ

かわごえ たくと
川越 卓斗

音楽イベントの企画に携わりたいと考えていた3年前。インターネットの検索でたまたま表示されたのが、ゴールドコンサートでした。早速、ボランティアに応募したものの、当時「障害者の表現活動をサポートするのだ!」という意気込みは特になく、ただただ様々なバックグラウンドを持つ方々とコンサートをつくっていく過程が楽しく、

現在までスタッフを続けています。

今年は実行委員となって2年目、本戦での業務の他、仙台や沖縄といった地方予選の運営にも参加させていただきました。地方ごとに音楽文化や音楽への関わり方が異なり、本戦とは違った雰囲気を経験できました。

障害を持つアーティストのコンサートと聞くと、「社会福祉」「多様性理解」などの意識高い系のワードを思い浮かべる方が多いと思いますが、少なくとも私はそのような窮屈な印象をゴールドコンサートには持っていません。もちろん、コンサートでのアーティストの順位付けは真剣なものですが、もっとラフな感じで純粋に音楽を楽しみに来ていただければと思います。



実行委員よりメッセージ

さいとう ひとみ
齋藤 日登美

私がゴールドコンサートに携わるようになったのは、第3回からなので、もう10年になります。その前年より実行委員の中心的存在として活躍されている諏訪間裕子さんからのご縁で、ボランティア説明会の進行や地方大会の司会、当日の受付業務等を主に担当させていただいています。

子供時代から全盲の祖母と暮らしてきたので、ゴールドコンサートに関わることは私にとってとても自然ななりゆきでした。ボランティアの皆さんと一緒に毎回楽しく当日お手伝いをしますが、ゴールドコンサートに出演する障がいを持つアーティストの方々の音楽の専門性は本当に高く、毎年レベルアップするその美しい音楽とその姿勢に触れ、私自身がより深く考えさせられ、成長させられている気がします。第14回も楽しみです!

これだけ便利になった世の中でも、まだまだバリアフリーとは言いがたい状況を度々目にします。ゴールドコンサートを応援することで、物理的にも心理的にも「バリアフリー」が普通に広がる一助になることを願っています。

実行委員

【実行委員長】

貝谷 嘉洋

【委員】

安藤 貴子

植田 誠

大木 聖薫

大山 絲子

織田 友理子

川越 卓斗

川崎 布美子

北川 知彦

金 美寧

小酒 真由子

小西 明宏

齋藤 日登美

篠原 智子

嶋川 史剛

清水 育美

下村 大介

鈴木 雅弘

須藤 貴士

関口 京子

関本 友紀

相馬 優一郎

十川 奈美子

高野 康子

田中 裕美

寺田 雅美

土井 葉月

中根 克

中村 公一

中村 辰男

西口 久美子

丹羽 真規

布川 清彦

韓 星民

半田 朋美

福島 浩太

福島 敏子

藤田 恭輔

藤田 拓哉

棒谷 愛子

細貝 智代

堀 隆三

堀越 美江

牧原 伸之

松繁 卓哉

三田 隆広

宮下 あけみ

明神 まりあ

村田 奈奈

村松 加王里

矢嶋 志穂

山崎 等

山本 真也

渡邊 武晴

事務局

貝谷 嘉洋

諏訪間 裕子

高瀬 舜

高橋 純代

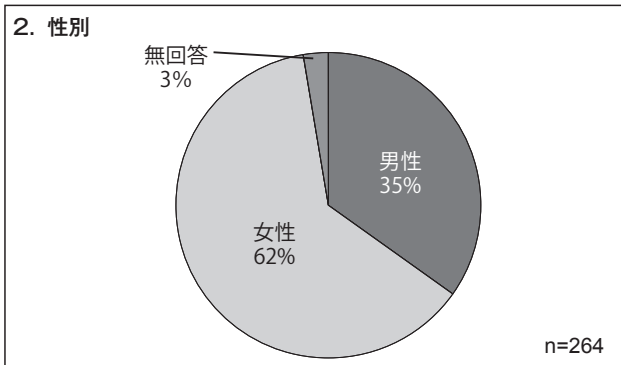
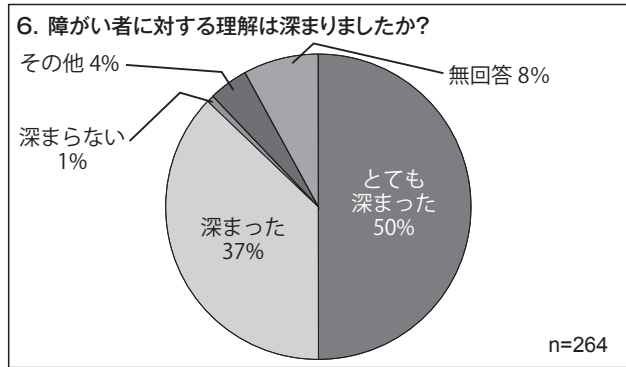
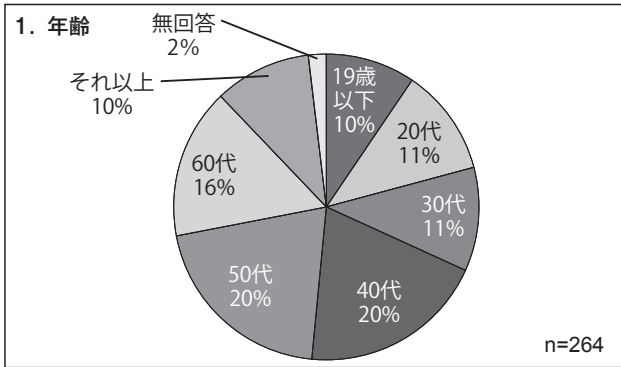
日比野 悟知

主催：NPO 法人日本

バリアフリー協会

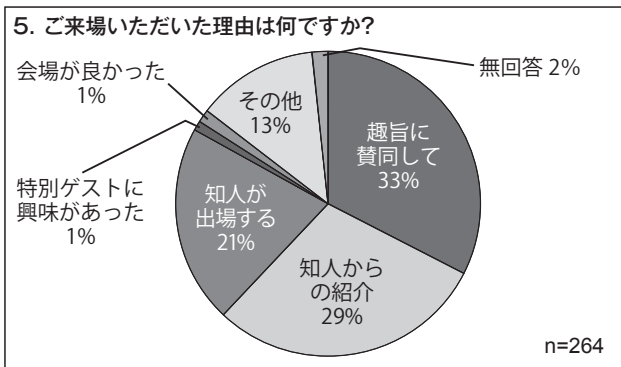
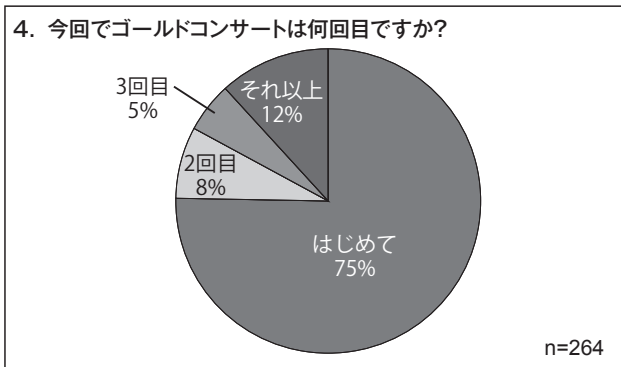
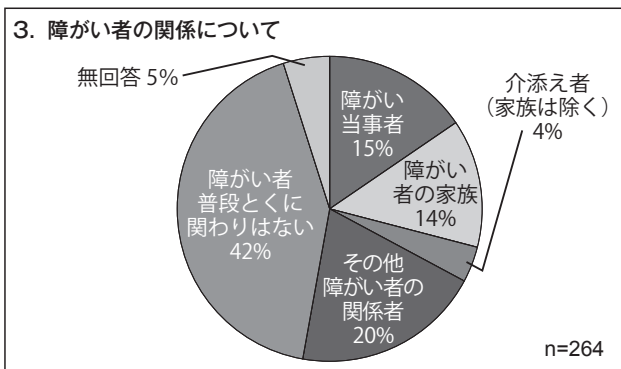
2016年7月に開催した実行委員会にて、写真家の大高英樹氏と実行委員の松繁卓哉氏に感謝状を贈呈

観客アンケート結果



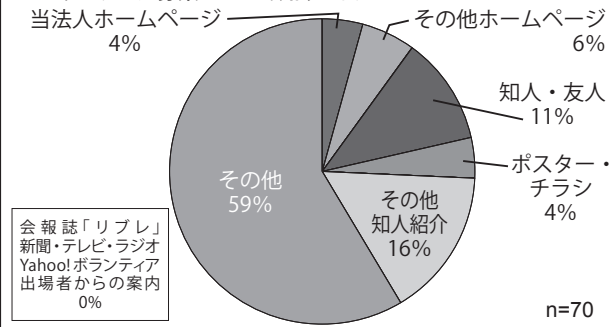
ご意見、ご感想

- ・障がい者用トイレが少ない、地下駐車場からのアクセスが大変、スタッフ対応は良かった、来年はエントリーします!
- ・途中からしか観覧できませんでしたが、熱気、クオリティ、すばらしかったです。来年も行きたいです。
- ・とても感動しました。会場も立派で特別な気持ちで見られました。すごく質の高い音楽も多く、限られた人たちにしか見てもらえないのが少しもったいなく思いました。
- ・字幕放送、助かっています。
- ・人によってぜんぜん違った良さがあり面白かったです。とても個性が出ていて良かったと思えました。
- ・障がい者関係なく努力すれば必ずできる事が分かった。障がい者の方たちだからこそ、演奏や歌を聞いて迫力を感じたし感動した。こういう機会にまた来たいと思った。
- ・知人だからとその人にただ投票することがはばかられ、真剣に悩んでしまいました。正直一番は決められませんでした。
- ・音楽を通して、障がいの壁をフラットにするというコンセプトがいい。
- ・障がいに対する意識が変わりました。純粋に音楽を楽しむことができました。
- ・出場者の皆さんクオリティが高く感動しました。障がいという“壁”を我々は勝手に作りがちですが、その“壁”をまるで感じず、出演者のみなさんの熱い思い、メッセージを強く感じることができました。
- ・年々レベルが上がっていて投票が難しい。皆さんの演奏素晴らしいすぎて感動でした。ありがとうございました。
- ・「できる」「できない」ではなく、やろうとすることが大切なんだということ、力強く感じさせていただきました。来年もまた来ます。
- ・コンサートは素晴らしいかったです。ただ照明で具合が悪くなったり、演奏後の批評の時間が長かったりしたあたり、コンサートの楽しさが少し減った。
- ・光が強すぎて目が。マスコット登場音が大きすぎる。最初の話がどうでもいい上、それぞれが長い。
- ・とても楽しかったです。小学生、中学生のパフォーマーの方に驚かされました。照明も素敵でした。
- ・視覚、聴覚、肢体、他、ここまで幅広く様々なサポート付コンクールは何処にも無いのではないのでしょうか。国内最先端のイベントだと思います。
- ・とても素晴らしいコンサートでした。ただ少し音が大きすぎる気がしました。子供をつれてきました。とてもいい経験になります。小さな子にも楽しめるように開催時間をもう少し早めて頂けたら嬉しいです。
- ・出場者皆さんのCDが欲しかった。
- ・生のステージ音楽の感動は素晴らしい体験でした。コンピュータを使ったり、手話の人がいたり、介添えの方がいたりすれば、誰でもこのような体験を味わう事ができるのですね。素晴らしい試みだと思います。感動しました。
- ・音量調整にもっと気を使った方がいいと思います。コンサートの時間が長く健常者にとってもつらかった。音響に気を使ってもらいたい。
- ・投票は1票でしたが、どの方も“比べる”、“選ぶ”というのは大変失礼な事と思う位に、どの方の想いも伝わり、感銘し、心から涙が溢れました。
- ・少し音が大きく子どもがしんどくないか不安だった。低音が響いた。
- ・音楽のジャンルが広がり面白かったです。
- ・13回目という事ですがこのようなイベントがある事を知らなかった。また来てみたい。
- ・とても素晴らしいレベルが高くてあまりに皆様お上手で驚きました。最後湯川審査員長の「プロとして通用するか」の決してやさしくない評価になるほど!!納得しました。
- ・ConstantGrowthを東京で見れて良かった。グランプリもとても感動!

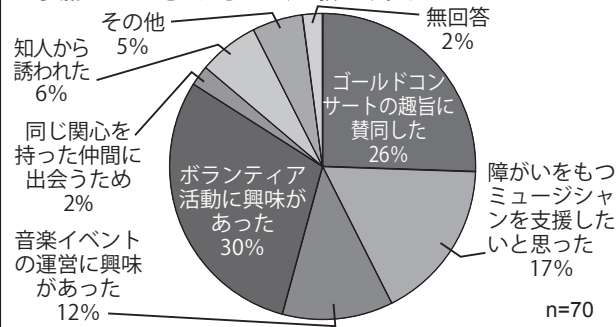


ボランティアアンケート結果・収支決算書

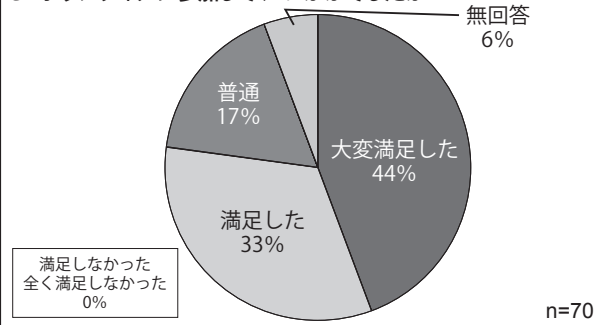
1. ボランティア募集をどこで知りましたか？



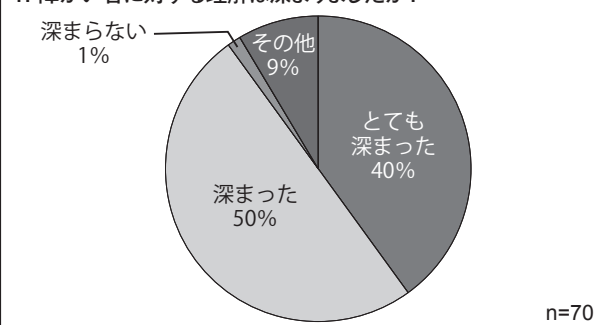
2. 参加したいと思ったきっかけを教えてください



3. ボランティアに参加して、いかがでしたか？



4. 障がい者に対する理解は深まりましたか？



ボランティア ご意見・ご感想

- ・大規模なボランティアへの参加は初めてで不安もありましたが、ボランティアの方々と協力し合いながらやる事ができてとても楽しかったです。これからもどんどん挑戦して行こうと思います。貴重な経験をありがとうございました。
- ・会場のご案内という事で障がい者の立場で不便な点や、快適に過ごせる案内を考えながらできたことが勉強になった。
- ・趣旨を知り自分の世界観が変わった気がします。積極的に携わっていきたいです。
- ・トイレの表示を明確にしてください。
- ・迷われている方がいました。始まってから慌てて表示を出していたので準備段階でお願いします。
- ・投票用紙とアンケートはチラシ類とは別途にした方が良いでしょう(プログラムと一緒に同封)。お客様が見つけにくいようです。
- ・担当した出場者がグランプリをとって嬉しかった。
- ・車いす席と介添者席が離れてしまう場合にはできる限り隣接しているといいですね。
- ・会場の造りが障がい者目線でない。日本の福祉事業が全く進んでいないと感じた。地震等の災害時が心配。etc.

収支決算書

収入の部

団体助成金	¥6,825,000
企業協賛金	¥4,830,000
個人協賛金	¥1,100,000
クラウドファンディング	¥418,000
チケット売上	¥913,916
昨年繰り越し	¥276,438
合計	¥14,363,354

支出の部

会場賃借料	¥2,677,655
舞台製作費	¥3,206,618
旅費交通費	¥1,414,113
通信運搬費	¥427,263
印刷費	¥737,672
事務用品費	¥605,889
チケット手数料	¥23,509
事務人件費	¥3,700,000
映像製作費	¥799,200
インターネット生放送	¥400,000
保険料	¥18,430
著作権料	¥14,373
合計	¥14,024,722
収支差額	¥338,632

第14回ゴールドコンサート 実行委員・ボランティア募集について

「第14回ゴールドコンサート」(2017年9月16日(土) / 東京国際フォーラム ホールC)の運営を有志でお手伝いしていただける方を探しています。昨年の第13回ゴールドコンサートでは、学生から社会人の方まで約200名の方にご参加いただきました。

●実行委員 (随時募集)

コンサートの事前準備から参加いただける方。企画、告知宣伝、当日運営などの主導的役割を務めていただきます。

●ボランティア (2017年夏頃募集開始予定)

コンサートの運営を有志でお手伝いいただける方。事前準備(可能な方)、事前説明会、当日運営にご参加いただけます。

詳細は下記までお問合せください。

NPO 法人日本バリアフリー協会 ゴールドコンサート事務局

TEL : 03-5215-1485 / FAX : 03-5215-1735

E-mail: info@npjba.org / URL: http://www.npojba.org

日本最大級のバリアフリー ストリート音楽祭

17th

とっておきの 音楽祭

VERY SPECIAL
MUSIC FESTIVAL

2017年 6月 4日 日

🎵 ストリート演奏 午前10時30分～午後5時30分(予定)

🎵 フィナーレ 午後 5時30分～午後7時30分(予定)



主催 :NPO 法人とっておきの音楽祭
運営 :とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI

〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-9-3-6F
tel 022-265-0980 fax 022-716-5717
info@totteokino-ongakusai.jp
<http://totteokino-ongakusai.jp>

とっておきの音楽祭は、障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラで、「心のバリアフリー」を目指す音楽祭です。2001年に仙台で始まった、とっておきの音楽祭は、これまで18ヶ所で開催され全国に広がっています。とっておきの音楽祭実行委員会SENDAIでは、「音楽のチカラで心のバリアフリー」を目指して全国各地で開催されることを願っています。

無限の夢へ、走りだそう。



競輪の補助事業
RING!RING!プロジェクト

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、ものづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで

RING!RING!

検索

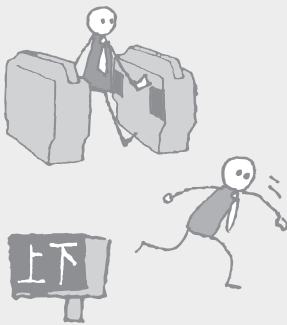




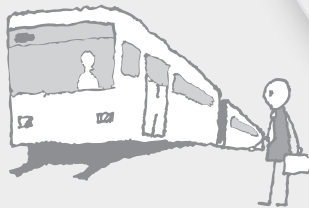
駅の券売機・自動改札



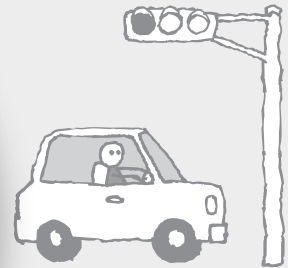
交通信号システム



鉄道信号システム



おでかけをエスコート 日本信号 テクノロジー



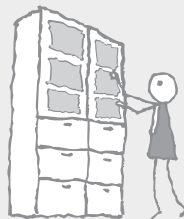
駐車場管理システム



駅へ、街へ、空港へ——。
でかけるあなたを支えています。
安全と信頼の日本信号テクノロジー。



ICタグソリューション



空港搭乗ゲート





PIZZA-LA[®]

JAPAN STANDARD

ピザーラのおいしさのヒミツは、素材と手間。
厳選された安心素材を使い、手間を惜しまずかけた
おいしい手作り本格ピザ『ピザーラメイド』を
お届けしています。



ITALIANA
イタリアーナ



お客様宅へ配達する店舗をご案内致します。

ピザーラ 公式サイト
www.pizza-la.co.jp

お客様相談室 ※この番号は注文の受付を致しておりません。

 **0120・53・1217** (受付時間10:00~20:00)

当社では、お客様の個人情報を商品のお届け、ご連絡、サービス情報のご案内、サービス改善のための調査以外の目的で使用することはありません。詳しくはピザーラ公式サイトにてご確認ください。

関西学院 ミッションステートメント

関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、
ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見出せるよう導き、
思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、
スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、
創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命とします。

スクールモットー

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”は、
「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、
自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。



西宮上ヶ原キャンパス 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
(神学部・文学部・社会学部・法学部・経済学部・商学部・人間福祉学部・国際学部・高等部、中学部)

西宮聖和キャンパス 兵庫県西宮市岡田山7-54
(教育学部、聖和短期大学、関西学院幼稚園)

宝塚キャンパス 兵庫県宝塚市武庫川町6-27
(初等部)

大阪梅田キャンパス
大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アプロースタワー10階・14階

東京丸の内キャンパス
東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階

神戸三田キャンパス 兵庫県三田市学園2-1
(総合政策学部・理工学部)

千里国際キャンパス
大阪府箕面市小野原西4-4-16
(千里国際中等部、高等部、
大阪インターナショナルスクール)

関学 検索

www.kwansei.ac.jp



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

大同生命は「ゴールドコンサート」を応援しています



大同生命大阪本社ビル(大阪市西区江戸堀)
～加島屋が店を構えた地に建つ～

大同生命は1902（明治35）年に創業しました。
中小企業経営者のもしものときの力になりたい。
創業者の一人である広岡浅子が生命保険事業に託した
「社会の救済」と「人々の生活の安定」という想いは、
いまでも大同生命に受け継がれています。



大同生命の礎を築いた
大坂の豪商“加島屋”



旧肥後橋本社ビル
(設計:W・M・ヴォーリス)

きゅうてんじゅっき

九転十起～広岡浅子の想いを胸に

「人が七転び八起きというのなら、
自分は九回転んでも十回起き上がる人間になろう。」

大同生命創業者の一人、広岡浅子のことばです。
困難な状況にあっても決してあきらめることのない浅子の
“九転十起”の精神は、今も当社に受け継がれています。



広岡浅子 (1849-1919)

長くつづく会社が多い国は、いい国だと思う。

DAIICHO 大同生命



公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会オフィシャルパートナー
JAPANESE PARA-SPORTS ASSOCIATION OFFICIAL PARTNERS



闘うあなたを、
独りにしない。



…あなたが笑顔になる、その日のために。

Nobelpharma
ノーベルファーマ株式会社

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町12-10 共同ビル(堀留) TEL.03-5651-1160 FAX.03-5651-1222
E-mail:info@nobelpharma.co.jp <http://www.nobelpharma.co.jp>



明日をもっとすこやかに

meiji

Meiji Seika ファルマ株式会社

作成：2013.04



SOROPTIMIST

Best for Women

国際ソロプチミスト川崎

女性による女性と女兒のための支援組織



国際ソロプチミスト川崎は女性による国際的ボランティア団体です。

国際ソロプチミストは国連の経済社会理事会の協議資格を持つ NGO です。

志をもって学ぶ女性と女兒のキャリアアップを支援します。

奨学金と支援等のお問い合わせはホームページより <http://si-kawasaki.net>

ゆうき だ うんてん めんきよ 勇気を出して運転免許にチャレンジしてみませんか？

くるま うんてん せかい きゆう ひろ
車の運転ができると、世界が急に広がります。



わたし れんしゅう めんきよ と
私もコヤマドライビングスクールで練習して、免許を取りました。

にほん きょうかいだいひょう かいや よしひろ
NPO日本バリアフリー協会代表 貝谷 嘉洋

わたし きん て うんてん あつか
私は筋ジストロフィーですが、手だけで運転するジョイスティックなら扱えます。
せんようしゃ も こ う い きやうしゅうじよ み
専用車の持ち込みを受け入れてくれる教習所がなかなか見つからなかったとき、
こころよ う い
快く受け入れてくれたのがコヤマドライビングスクールでした。



インストラクターの皆さんがとても熱心に指導してくれたおかげで、みごと免許を
しゆとく いま たの す
取得！今はとても楽しいカーライフを過ごしています。
ゆうき だ うんてんめんきよ あたら せかい ま
勇気を出して運転免許にチャレンジしたら、きっと新しい世界が待っていますよ。



したいしやう かた じょうきやう
肢体障がいの方には、それぞれの状況に
あ きやうしゅうじや ようい
合わせた教習車をご用意しています。
しぶん くるま も こ きやうしゅう
また、ご自分の車を持ち込んで教習もできます。

せんかいそうち しゆどうそうち
旋回装置 手動装置



しゆわ つか こう めいじやう つね
手話が使ええるインストラクターは、4校で100名以上。常に
けんしゅう かき
研修を重ね、ブラッシュアップしています。



第一種運転免許は8種類あり
運転できる車は次の通りです
しまくい しかくきやうざい むずか
「字幕入りの視覚教材」や難しい
たんご せつめい
単語をわかりやすく説明した
ようごかいせつしゅう きやうざい
「用語解説集」など、教材にも
くふう
さまざまな工夫が。



ちゆうしやじやう しせつ
トイレや駐車場など施設も
もちろんバリアフリーです。

めんきよしやう いつしよ て じしん
免許証と一緒に手にした自信

せたがやく よしの たくや
世田谷区 吉野拓也

わたし みぎがわきのうしやうがいも めんきよ と
私は右側機能障害持ちです。免許を取ることで、
さいしよ きたい ふあん
最初は期待よりも不安ばかり。でも、コヤマドライ
ビングスクールに通ってみると、インストラクター
かたがた とてもやさしく たの そつぎやう
の方々がとてもやさしく、楽しくて卒業したくなく
なるほどでした。私が得たものは免許証だけでは
わたし え めんきよしやう
ありません。「チャレンジすれば、夢は叶うもの」と
じしん も
いう自信を持つことができました。

Koyama Driving School
www.koyama.co.jp

公安委員会指定/実技試験免除 年中無休/9:30▶21:30

■二子玉川校 TEL03-3709-2551 FAX03-3709-7871 special.f@koyama.co.jp
■石神井校 TEL03-3996-0671 FAX03-3996-0611 special.s@koyama.co.jp
■秋津校 TEL042-396-7070 FAX042-396-7222 special.a@koyama.co.jp
■網島校 TEL045-531-6461 FAX045-531-6465 special.t@koyama.co.jp

イベントの企画・演出・制作・運営・美術・事務局運営
司会・モデル・タレント・イケメン等のブッキング管理

株式会社テイクプロシード
〒150-0036
東京都渋谷区南平台町15-10 3F
<http://www.take-pro.jp/>

武

TAKEPROCEED inc.

シニア世代の皆様に新しい体験をご提案しております。

- バリ島開発事業部 ※バリ島にてヴィラホテルを含め、現地法人2社を運営
- ・バリ島で遊ぶ → サーフィン・スキューバダイビング、マリンスポーツを満喫。
 - ・バリ島で学ぶ → バリ語・インドネシア語を始め、特有の文化を現地にて学べます。
 - ・バリ島で営む → エステサロン・飲食店等の経営を、現地スタッフと共に全面サポート。
 - ・バリ島で暮す → ショートステイ・ロングステイのカスタムサポート。

- 終活IT事業部 ※各種講座を終活カウンセラーがプロデュース
- ・IT講座(スマホ・パソコン・タブレット・インターネット・オークション)
 - ・エンディングノートの書き方講座

介護ネイルケア事業部

【お問合せ先】
株式会社イングランディーレ
住所：130-0026 東京都墨田区両国2-18-2 さとうビル6階
メールアドレス：info@igd.jp
電話番号：03-6659-2655
FAX番号：03-6659-2794





未来に、社会に。 豊かさを。

オリックスグループは「豊かな社会」を実現するために、
社会福祉、青少年の育成、環境保全などの分野で支援活動を続けています。



児童養護施設などの子どもたちを、オリックス・パナソニックの野球観戦にご招待しています。



沖縄県内の子どもたちをご招待して、移植用のサンゴの苗作り体験プログラムを開催しています。



全国の肢体不自由児施設に、車椅子でそのまま乗車できる福祉車両を寄贈しています。



フィリピンでの学校の建設やタイでの図書館の建設など、海外での支援活動も行っています。

Palo National High School
Bureau of Education, DepEd Division Office - Marikina City
A child has the right to:
Be born, have a name and nationality
Have a family who love and care
Live in a peaceful and wholesome community
Have adequate food and a healthy and active body
Obtain a good education
Enjoy a life full of play
Participate in decisions that affect his or her life

ほかにはない
アンサーを。



オーケストラコンサートへのご招待企画を実施するなど、音楽の振興に資する活動を行っています。

オリックス宮内財団



"再歩行"を目指す、日本初の脊髄損傷専門トレーニングジム

日本初の脊髄損傷者専門トレーニングジムを展開する J-Workout 株式会社は、米国サンディエゴにある世界初の脊髄損傷回復施設「Project Walk」から、初めて海外へ手技を持ち出すことを認められてスタートしました。創業以来、Project Walk の技術をベースに、再歩行を目指す全身トレーニングをご提供しています。これまでに370名以上(2016年12月現在)以上のクライアント様(多くは「一生歩くことはできない」と宣告された方々)に対して地道なトレーニングを提供し、再び立ち上がり、歩くという成果を着実に積み重ねています。

<東京スタジオ> 〒135-0042 東京都江東区木場 2-17-13 第二亀井ビル 3 階
<大阪スタジオ> 〒530-0026 大阪府大阪市北区神山町 1-7 アーバネックス神山町ビル
TEL : 03-5809-9390 FAX : 03-5809-9391
MAIL : info@j-workout.com WEB : http://www.j-workout.com





時代をになう インフラづくり。

大地に根を張るインフラが、安心の暮らしを支えます。
太陽に伸ばした枝葉が、人々の笑顔を広げます。
私たちは、時代を切り拓く最先端の技術で、
豊かな社会を支える基盤づくりに挑戦します。

日本コムシス株式会社

〒141-8647 東京都品川区東五反田2-17-1
TEL 03-3448-7030 <http://www.comsys.co.jp/>

からだ 身体で聴こう音楽会



聴覚に障害をお持ちの方々も一緒に、音楽を楽しんでいただける様、音を振動に変える「体感音響システム」を使ったコンサートを開催しています。

主な活動内容

- 定期コンサートの開催
- 外部団体主催のコンサートへのご招待
- 体感音響システムの貸出

パイオニア株式会社

「身体で聴こう音楽会」係

FAX: 03-6634-8736 TEL: 03-6634-9262

<http://pioneer.jp/corp/society/contribution/>

Pioneer

mont·bell

Outdoor Gear & Clothing

モンベル それは美しい山

私たちは、自然がどんなに美しく
自然に振る舞うことが
どんなに素晴らしいことかを知っています

Photo: Adam Clark

株式会社 **モンベル** 【お問い合わせ】モンベル・カスタマー・サービス ☎0088-22-0031 / TEL.06-6536-5740

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

www.montbell.jp

人類を守ろう!!



『おっぱいは地球の宝』

今日から自宅で乳がんチェック
プレストケアグラブ

Breast Care Glove[®]

乳房チェック補助用具・乳がん自己検診特殊手袋

もっと乳がんを知ろう～早期発見により自分を守る為に!

20歳を過ぎたら
乳房を触ってみましょう

この製品は、乳がん診断用の医療用具ではありません。自己チェックの補助具としてお役立ちする健康増進ツールです。世界的に多くの医師や乳がん患者の協力が集結していますようにご自分の乳房に集中を持っていただき、この製品を利用した定期的な自己チェックと記録。そして検診機関でのマンモグラフィー等による定期検診を併用することによって、あなたの乳がん健康を守ってください。

※検診機による結果
マンモグラフィー等を用いた専門検診・検査による定期検診も忘れず!

ピンクリボン運動 【唯一自分で発見できるガン】

人が地球に誕生してからずっとお世話になりっぱなしのおっぱいが、今、命をおひやかす「ガン」発生の最大の部所になっている。だから「ピンクリボン運動」が、世界的に拡大すると、人類を救い、人類をが永続するわけである。

しかも、手袋（プレストケアグラブ）で、自分で予防をする。こんな簡単な方法が、ガンや病気の予防自覚へと発展する。

おっぱい手袋運動が、人類を救う!!

そんなわけで、「ピンクリボン運動推進本部」が設立された。みんなで参加しよう。幸福を作ろう。

ピンクリボン運動推進本部
理事長 光永勇

あなたも参加しませんか?

ピンクリボン運動推進本部

～福祉勝手連～

〒105-0014 東京都港区芝 3-6-10 RINA ビル
TEL & FAX : 03-3869-3876



Jiba

主催 NPO 法人
日本バリアフリー協会
<http://www.npojba.org>

発行所

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷 102号
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
定価100円

編集人

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-7-16-801
特定非営利活動法人日本バリアフリー協会
代表理事 貝谷嘉洋